

公開実用 昭和52—53



印紙 160円

实用新案登録願

昭和50年6月30日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 サイアンヨウ 水庄用ペーンモータ

2. 考案者 (出願人に同じ)

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 581

住 所 大阪府八尾市春日町4-5-17

氏名 田原幸翁

4.添付書類の目録

(1) 明細書 1 通

(2) 図面 1 通

(3) 請書副本 1 通



明細書

1. 考案の名称 水圧用ペーンモータ

2. 實用新案登録請求の範囲

図面に示す様に給水孔9より水圧を流入させ、
水路10により最初にペーン5が水圧で作動し、複数
個の部屋15を形成した直後、水路10より分岐して
いる水路14のために、部屋15に水圧が流入し、ロータ
4が回転する水圧用ペーンモータ。

3. 考案の詳細な説明

この実用新案は高周波焼入を行う場合に、品物
を回転させる必要性から、豊富に有る水圧を利用して
回転させるモータについて考案したものである。

一般に高周波焼入を行う場合、品物を回転治具
にのせて、その治具を小型電動機により回転させ
ているのが現状である。しかし焼入作業は品物を
加熱した直後に水で冷却する為、水、水蒸気、湿
気等で小型電動機が故障し、交換が頻繁に発生す
るので不都合であつた。又、水車に水圧を噴射し
て回転させる方法があるが、これは効率が悪く高

出願人 田原千明

公開実用 昭和52—6953

水圧にするか 水車の外径を大きくして回転トルクを得る為に、 実用性に欠けあまり使用されていない。

故に、 本考案は高周波焼入に水は不可欠なものである所から、 その水を効率よく利用し適当な回転数で、 品物を回転させ、 問題を解消したものである。

これを図面について説明すれば、 サイドフランジ2、 3により両端を密閉されたシリンダ1 内に偏心させて、 ロータ4がドライブシャフト6、 ブッシュ8にて回転出来る様に組付てあり、 そのロータ4に半径方向にスライドするペーン5が6枚挿入されている。 又、 ドライブシャフト6からの水漏れを防ぐ為に、 シール7が設けられている。

動作はシリンダ1の給水孔9より圧力のある水を水路10に流入させる。 途中に設けられた水路14が直角に分岐している為に、 水路14には殆ど流入せずに、 水は両端の水路11、 12を通して小室13に流入する。 その為にペーン5は流入した水圧により、 シリンダ1内に押付けられ部屋15を形成する。

出願人 田原千明

BEST AVAILABLE COPY

ペーン5が作動した直後、水は水路14よりシリンダ1内に形成されている部屋15に流入し水圧がかかり大気圧の部屋16との間に、圧力差が生じ回転し始め、ロータ4が偏心して組付けてあることから、ペーン5が回転しながら中心部に押しこまれ、流入した水は排水孔17に押出され連続回転をする。

又、回転数は排水孔17側で流量を調整することにより、回転トルクを殆ど変化させずに自由に選定できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の正面横断面図である。

第2図は本考案の平面図である。

但し、給水孔9側一部縦断面図である。

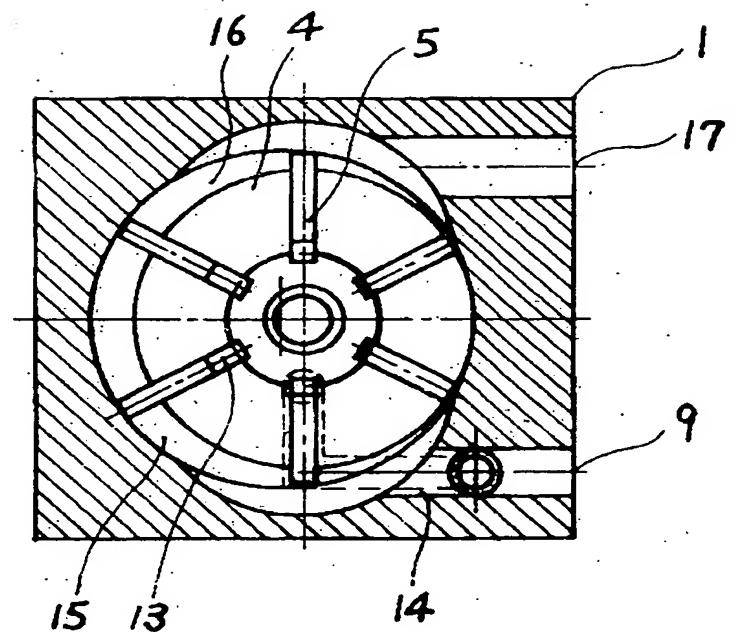
第3図は本考案の側面縦断面図である。

BEST AVAILABLE COPY

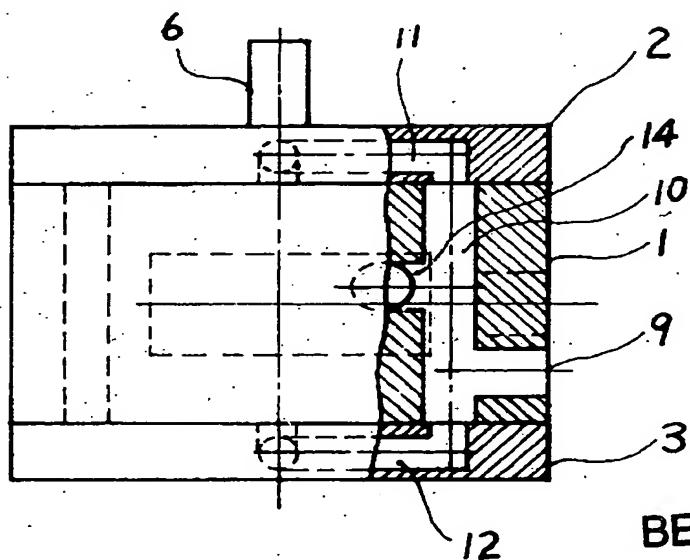
出願人 田原千明

実用開示 昭和52-953

第一回図



第二回図



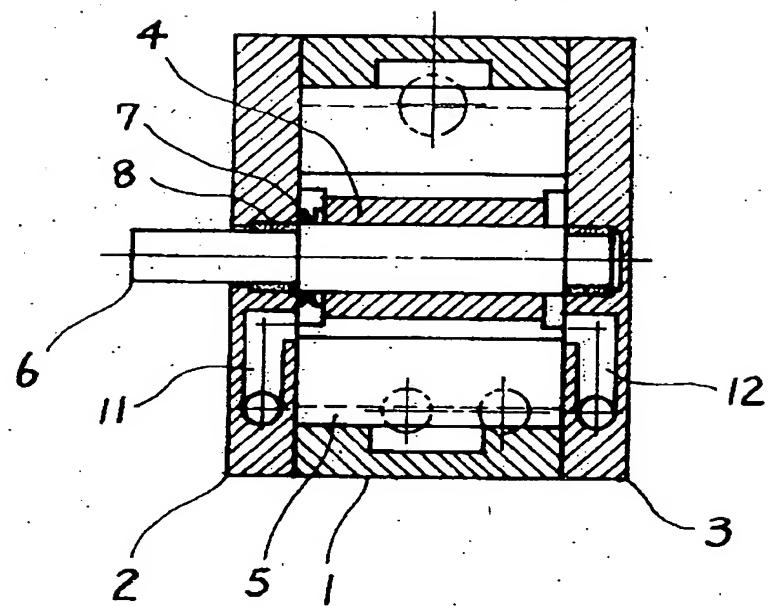
BEST AVAILABLE COPY

6953

1/2

出願人 田原千明

第 3 図



BEST AVAILABLE COPY

6953

35

出願人

田原千明

